

広報

ISHIKAWA town public announcement magazine

いしかわ

2016 August

第679号

平成28年
8月1日発行

8



特集

2~3面

水を大切に 使いましょう



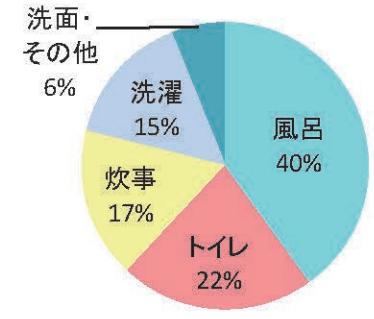
激走

第15回JBCF石川サイクルロードレースは7月17日、石川町・浅川町周回コースで行われました。選手は沿道からの声援を受けながら、迫力あるレースを繰り広げました。

[写真上] 下り坂のスピードは庄巻

[写真下] エスコートキッズと一緒に

水を大切に使いましょう



一般家庭水使用目的別実態調査
(東京都水道局 2012年)



私たちの生活の中で水を使う機会が多いのは、左の円グラフのとおり風呂とトイレで大半を占めています。特に、風呂に張った水の量を見てみると、一回あたりの水の使用量がどれだけ多いのが分かると思います。トイレについても、家族全員が使うとなると1日だけでも多くの水を使います。水不足の際に普段変わらない水の使い方をしてしまうと、深刻な状況になる可能性があります。普段から節水を心がけるようにすれば、貴重な水資源を維持することができます。

私たちの水の使い道は?

上手に水を使って 節水じょう!

①水はまめに止めよう
蛇口から流れる水は、私たちが思っているよりずっと量が多く、毎分11～13リットルの水が出ています。水道をこまめに止めるようにすれば、1世帯で年間約75,000リットルもの水を節約することができます。水道をこまめに止める」とは、節水の一一番簡単な方法です。気づいたら水から始めていきましょう。



②風呂の残り湯はすぐ捨てずに再利用しよう

日本の一般家庭で使用されている浴槽は、約200リットルもの水が入ります。毎日風呂に入っている家庭では、年間約73,000リットルの水を使用していることになり、その分の水を再利用することができます。残り湯をすぐに捨てるのではなく、洗濯や洗車、樹木への水やりなどに使いましょう。

また、お風呂で髪を洗う時は、シャワーの水を流したままにしないようにしましょう。(シャワーホーク、水道の蛇口をひねった時と同じぐら



④トイレの大・小レバーを使い分けましょう

大小レバーを使い分けることで、小レバーは大レバーに比べて、約2リットルの節水になります。



③コップに水を汲んで歯磨きをしよう

歯磨きの時の流しつばなしは、30秒で約6リットルも水を使います。コップに水を汲んで歯磨きすれば、3杯(約0・6リットル)程度の水で済み、約5リットルの節水になります。



▲水位が著しく低下した千五沢ダム



▲水不足により干上がった水田

私たちが普段何気なく使っている水は、蛇口をひねれば当たり前のようになります。その割合は地球上の水の中でも私たちが使用できる湖沼水や、河川水、地下水はわずか1%にも満たないため、とても貴重な資源であるといえます。石川町では、夏にかけて少雨が続いたため、農業用水や水道原水として利用されている千五沢ダムは貯水

がされない状態となり、6月5日に貯水率が14・9%にまで低下しました。また、農業用水については、7月中旬まで給水制限を余儀なくされ、水田等の作物に影響を与えました。私たちの生活の中で水は必要ある資源です。当たり前のように使えると思っていても、水不足の状態になれば給水制限等が措置されたり、普段の私たちの生活や農家の生計に大きな影響を与えます。水不足の非常事態はいつ起るか分かりません。普段の生活を見直し、貴重な資源を大切に使いましょう。



▲新庁舎 各課カウンター



▲58年の歴史に幕を下ろす現在の本庁舎



開庁までのスケジュール

石川町役場新庁舎の建設工事が終了し、9月5日の供用に向けて準備を進めています。供用開始までのスケジュール予定は次のとおりです。

○新庁舎落成式	8月25日(木) 午前10時半
○旧庁舎閉庁式	8月27日(土), 28日(日)
○町民内覧会	8月27日(土), 28日(日)
○新庁舎開庁式	9月2日(金) 午後5時15分
○新庁舎玄関前	9月5日(月) 午前8時15分

・見学場所
・駐車場
新庁舎敷地内にあります駐車スペースをご利用下さい。
町民の皆さんに新庁舎内を見学していただく内覧会を開催します。
執務スペース以外の箇所は自由に見学することができます。

新庁舎町民内覧会

9月5日 役場新庁舎供用開始

長久保地内に建設を進めていました町役場の新庁舎が完成し、9月5日（月）から業務を開始します。

新庁舎の完成に伴い、これまで本庁舎と分庁舎に分散していた部署を統合し、町民の皆様の利用が一番多い窓口部門（町民生活課、保健福祉課、税務課、会計室、水道事業所）は1階に配置しました。2階には総務部門、事業部門、3階には議会部門と教育課を配置し、各階は基本的にオープンカウンター方式とし、町民サービスが行きやすい機能性と効率性の高い庁舎としました。



石川町役場新庁舎住所
〒963-7893
石川町字長久保185番地の4
電話番号 0247-26-2111(代)

※郵便番号、各課電話番号に変更はありません。

新庁舎開庁に合わせ各種サービスを開始します

まちなか窓口（石川町公民館 窓口機能）

庁舎移転に伴う町民の利便性確保のため、石川町公民館に窓口機能を追加したまちなか窓口を開設します。

- 発行業務
住民票、印鑑証明、税証明
- 発行時間
午前8時30分～午後5時15分（土日祝日を除く）



新庁舎への循環バス

旧本庁舎→新庁舎ルート 新庁舎→旧本庁舎ルート

- 運行時間
午前9時～午後4時
(1時間置き)
※土日祝日を除く
 - 運行経路
旧本庁舎→旧分庁舎→新庁舎
新庁舎→旧分庁舎→旧本庁舎
- ※いずれのバスも無料で乗車できますが、循環バスの利用は役場新庁舎利用の方に限ります。

循環バスルート



「桜谷」フォトコン テスト審査結果発表



橋本 謙 (石川町)



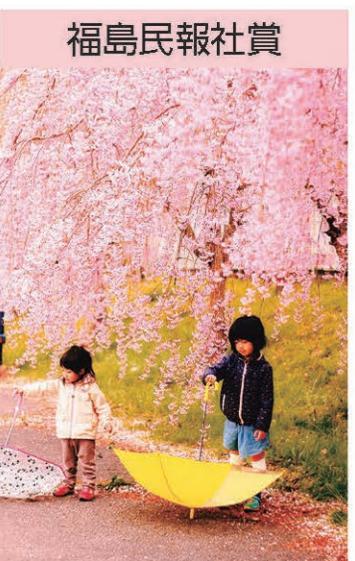
坂本 洋司 (棚倉町)



添田 洋子 (石川町)



我妻 英昭 (石川町)



吉田 キミ子 (石川町)

熊田 裕子
(矢祭町)

佳 作

佐久間正行 (石川町)
添田 義弘 (石川町)
我妻 雅隆 (石川町)
坂本 洋司 (棚倉町)
小林 優 (茨城県)

夕刊いしかわ新聞社賞

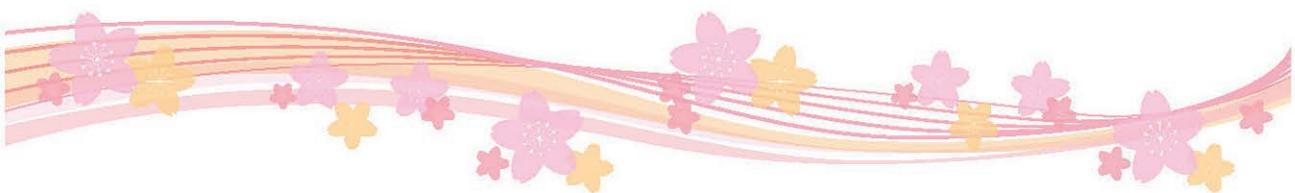


渡辺 初江 (石川町)

町民ニュース社賞



緑川 佳代子 (石川町)



グランプリ

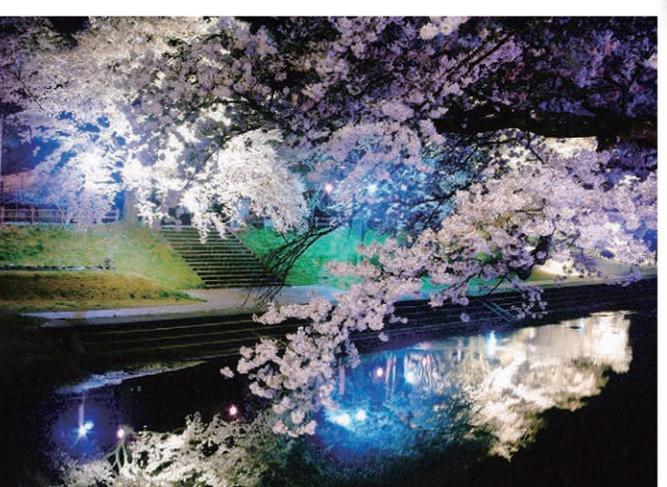
「故里春音」
中島 彩乃 (石川町)



準グランプリ



「夢のトンネルを走る」
添田 正活 (石川町)



「今宵、夢心地」
佐藤 伸一 (石川町)

ぜひご覧ください。

たくさんのご応募ありがとうございました。

石川町の美しい桜の風景をテーマに募集した「桜谷」フォトコンテストの審査が行われ、応募総数139点の中からグランプリに中島彩乃さん、準グランプリに添田正活さん、佐藤伸一さんが選ばれました。今月号では入選作品をご紹介します。(敬称略)なお、全作品を8月末まで石川自治センター内に展示しているので、



全国の舞台へ 石川小白自転車部が優勝報告

石川小学校（渡辺敏幸校長）自転車部の優勝報告会は7月5日、町長室で行われました。

同校自転車部は、7月2日に行われた第51回交通安全子供自転車福島県大会の団体の部で見事優勝し、8月3日に東京ビッグサイトで行われる第50回交通安全子供自転車全国大会への出場を決めました。

報告会で桑沢透弥さん（同校6年）は「全国大会では優勝を目指してがんばりたい」と意気込みを語りました。



創立18年目で初 石川リトルリーグ東北大会出場

石川リトルリーグ（小川一監督）の2016全国選抜リトルリーグ野球東北連盟大会出場決定による壮行会は7月4日、石川町公民館で行われました。

同チームは、6月に行われた2016全国選抜リトルリーグ野球福島県大会において3位となり、創立18年目で初の東北大会出場を決めました。

7月9日に行われた東北連盟大会では2回戦で八戸リーグと対戦し、7-8で惜しくも敗れてしましましたが、今後の更なる活躍が期待されます。



石川吹奏楽団が チャリティコンサートを開催

石川吹奏楽団（矢内利幸団長）による第33回チャリティコンサートは6月12日、石川町体育館で行われました。

このコンサートは吹奏楽を通して地域文化の向上、慈善活動を目的に毎年行われています。

当日はクラシック、歌謡曲、アニメやゲームのテーマ曲など幅広いジャンルの演奏が行われました。今年も多彩で楽しい演奏が行われ、素晴らしいコンサートになりました。



交通事故ゼロへ 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動実施

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式は7月15日、石川警察署前で行われました。この運動は、7月16日から25日まで行われ、夏季特有の暑さや行楽等の疲労などにより交通事故の多発が予想されるため、県民一人ひとりの交通安全意識を高め、交通ルールの遵守・交通マナーの実践を習慣づけることを目的に実施されました。

また、石川管内においても交通事故が発生していることから、チラシ等を配布して交通安全に対する意識の高揚と安全意識の徹底を呼びかけました。



いつまでもお元気で 水野谷キクさんが100歳に

水野谷キクさん（沢井字五反分）が7月15日に100歳を迎え、自宅で賀寿贈呈式が行われました。

式では、鈴木陽一県中保健福祉事務所副所長、加納武夫町長から賀寿、お祝金、記念品が贈られ、ひ孫の優さんより花束の贈呈、その後親族を代表して酒井利治さんが謝辞を述べました。

水野谷さんは塗り絵や貼り絵が得意で、長寿の秘訣は「くよくよしないでよく食べること」とのことです。



災害発生時に相互に協力を 町内郵便局と防災協定を締結

「災害発生における石川町と石川町内郵便局の協力に関する協定」調印式は6月30日、石川町役場で行われました。

この協定は、町内で災害が発生した際、町と町内郵便局が相互に協力を要請できるものであり、郵便局ネットワークを活用した広報活動、災害救助法適用時において被災者に対する郵便はがき等の無償交付や被災者が差し出す郵便物の料金免除などについて取り決めたものです。

小堀晴規石川郵便局長は「災害発生時は自治体との連携が必要。さらに協力体制が強まる 것을期待する」と述べました。



日頃の思いを発表 少年の主張大会

第32回石川町少年の主張大会は6月18日、共同福祉施設で行われました。

同大会は、小学生・中学生・高校生が、家庭・学校・地域などの関わり合いの中で、日頃考えていることを発表することで自立心や社会性を養うとともに、町民の皆さんのが青少年健全育成に理解と関心を深めることができるよう開催されています。

当日は小学生4人、中学生3人、高校生1人が、将来的夢や生き物から学んだこと、最高学年になって思ったことや命の大切さなどをテーマに発表しました。

取材します！ 身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。

中学生の認知症サポーター誕生! ～認知症の人やその家族を地域みんなで支えよう～

6月29日、石川中学校1年生の認知症サポーター養成講座が開催され、新たに134名の認知症サポーターが誕生しました。講座では、寸劇「認知症でも大丈夫」と講話のあと、自分たちに何ができるかを話し合いました。生徒さんからは次のような感想が寄せられました。

「今日の講座で認知症の大変さやいろいろなことを教えてもらって、特に大切にしたいのは“やさしさ”と“言葉”なんだと思いました。今、近くに認知症の人はいませんが、祖父や祖母がいるのでいろいろと手伝いをし、笑顔でしゃべって、これからも楽しく生活できるように、がんばりたいです」

「相手の接し方によって症状の進行が違ってくるということが一番驚きました。なので、高齢者はもちろん、小さい子や友達にも優しく接したいです。家族も大変だし、病気にかかっている人も大変だと思いました」

認知症の人の気持ちや、中学生である自分たちの役割を真剣に考えてくれた中学生のみなさん、とても頼もしく感じました。



認知症サポーター養成講座の申し込み・認知症の相談窓口 石川町地域包括支援センター ☎26-4606

ともに認め合い
支え合う社会へ

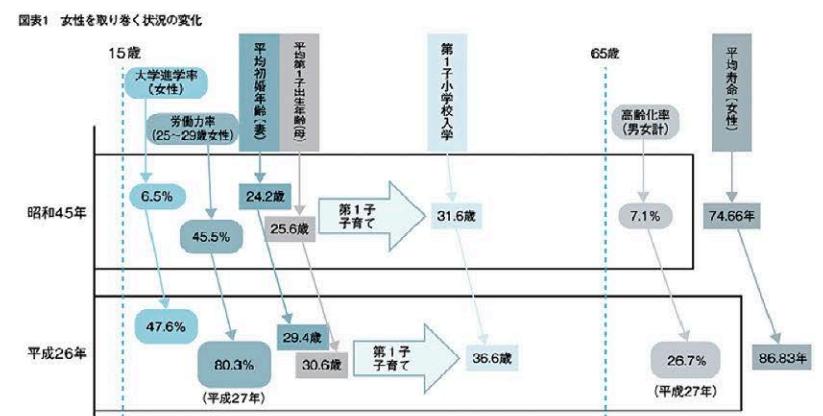
男女共同参画
いしかわ

平成28年版男女共同参画白書から

内閣府から男女共同参画白書が公表されました。この白書は、男女共同参画社会基本法に基づいて毎年国会に報告されるもので、今回が17回目になります。

今日は白書でとりあげた昭和45年から平成26年にかけての女性を取り巻く状況の変遷について紹介します。

女性の平均寿命は74.66年から86.83年へと大きく伸び、総人口に占める65歳以上人口の割合である高齢化率も7.1%から26.7%（平成27年）と大幅に上昇しています。一方、女性の平均初婚年齢は24.2歳から29.4歳と5歳以上上昇し、平均第1子出生年齢は25.6歳から30.6歳となり、初婚年齢の上昇と呼応する形で高くなっています。晩婚化、晚産化の影響も受け、合計特殊出生率は2.13から1.42となっています。（出典：平成28年版男女共同参画白書）



女性の一生が子育てのみで終わるという時代は過去のこととなり、特に子育て後の時間をいかに充実させるかが、これから大きなテーマとなりそうです。

おじいちゃん おばあちゃん といっしょ

● どんなお孫さんですか？

明るく元気がよくて、優しい子です。新幹線や恐竜、ウルトラマンなどが大好きです。

● おじいちゃん、おばあちゃんの好きなところはなんですか？

バッタやどじょうを捕りに一緒に行ってくれたり、絵本を読んでくれるところです。

● お孫さんへメッセージをお願いします。

明るく元気に、優しい子に育つてほしいと思います。



野木沢保育所に通う矢吹 太心くん、弟の心くん、
たいしん しん
祖父の重光さん、祖母の多代子さんです。

食事は、楽しく美味しく幸せな気分になり、食事の時間が楽しみへと変わります。楽しい食事は、子どもの朝食の欠食や好き嫌いをなくすことにも繋がります。

1日3回の食事のうち、2回は家庭での食事です。家庭の食事が、食の基本や嗜好へとなり、親から子へ引き継がれていきます。まずは、手作りの料理を食卓に並べ、食べ物の意味や食事の大切さを伝え、家族全員がより健康的な食事へと変わるよう、心がけましょう。こんな生活していませんか。

朝起きれない

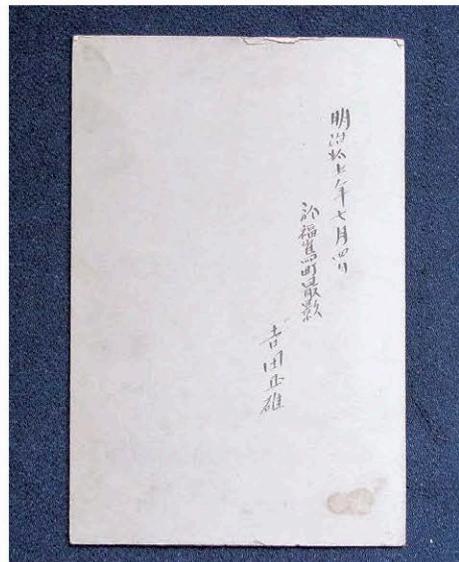
- ➡朝食が食べられない
- ➡元気がでない
- ➡昼食を食べない（給食を食べない）
- ➡間食をする
(甘いお菓子、スナック菓子、甘いジュース)
- ➡夕食はひとりで食べる
- ➡夜食を食べる
- ➡夜寝るのが遅い

生活リズムと食は深く関連しています。夜型の生活や間食の多い生活は、食習慣を乱します。楽しい食事ができるように、日頃から、規則正しい生活リズムを身につけることも重要です。



《資料館便り》

石川郡出身初
の衆議院議員



(右:写真裏面)「明治拾五年七月四日 於福島(島)町最(撮)影 吉田正雄」

正雄が福島にいた当時の姿であることが分かります。そして、福島県会を徹底的に軽視する県令三島通庸(みしまみちつね)と鋭く対立していた、正にその時でした。この年11月末、「福島・喜多方事件」が発生し、河野広中、吉田光一等と共に逮捕されています。

吉田正雄: 弘化4(1847)年、石川町鳥内に生まれ、川辺村(現玉川村)の庄屋筋の家を継ぐ。石陽社結成当時からの中心メンバーで、石川地方の民権運動を推進した。明治11(1878)年には、全国に先駆けて誕生した福島県会(民会)に石川郡から選出され、県会議員として活躍した。また、明治27(1894)年3月の第三回、そして同9月の第四回衆議院総選挙に河野と共に連続して当選し、石川郡出身初の代議士となった。

《鉱物教室》開講!

●「鉱物教室」が二年ぶりに再開しました。講師に橋本悦雄氏(石川町文化財保護審議会委員)をお願いし、今年度は4回にわたって、採集や鉱物館見学等を実施します。熱心な方々、中には茨城県からの応募もありました。「鉱物の町」にふさわしい事業にしようと考えています。



▲矢吹重雄館長のあいさつと講師紹介

石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に昭和49(1974)年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

「資料館便り」編集: 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田200-2 ☎26-3768

民権家「吉田正雄」の写真発見!

昨年は、東日本初の民権結社である石陽社が結成されて140年の節目にあたりましたが、その影響がまだ残っているかのように、民権家吉田正雄の写真が町内の旧家から発見されました。

石川の民権家の写真は、これまで、河野広中や吉田光一のものが僅かに知られているだけでしたので、誠に貴重な発見となりました。

写真裏面には、明治15年(1882)7月4日、福島町(現福島市)において撮影と記されており、民権家として吉田正雄が福島にいた当時の姿であることが分かります。そして、福島県会を徹底的に軽視する県令三島通庸(みしまみちつね)と鋭く対立していた、正にその時でした。この年11月末、「福島・喜多方事件」が発生し、河野広中、吉田光一等と共に逮捕されています。

いしかわの「お宝」⑬

石川町指定文化財

いわ つ つこ わ けじんじや こまいぬ
「石都々古和氣神社の狛犬」

(石川町下泉: 石都々古和氣神社所在)



▲石都々古和氣神社参道の狛犬

両側に狛犬: 雌獅子(吽像: 左)・雄獅子(阿像: 右)



雄獅子: 跳動感に溢れた姿、恐ろしいまでの形相

雌獅子と子獅子: 母と子の愛に満ちた表情(子は三頭います。)

石都々古和氣神社参道にある狛犬は、昭和5(1930)年、本町出身の石工・小林和平によって彫られました。雄獅子、雌獅子共躍動感に溢れており、「飛翔狛犬」と呼ばれています。研究者の間で、全国的にも類例のない形態であり、また、優れて芸術性の高い作品であると評価されています。

本年5月9日、石川町教育委員会において、石川町有形文化財に指定されました。

企画展「石川の大地教育の母~三森たか子先生93歳の生涯~」開催中!

三森たか子氏は、長年石川郡内小中学校の教壇に立ち、理科教育、なかでも、石川の大地を構成する岩石・鉱物について、児童生徒に「郷土石川」のすばらしさを実感させる授業を開催され、多くの業績を挙げられました。

本企画展は、大地と子ども達を生涯に亘り慈しんだ三森氏の御功績を称えるために開催しております。ぜひ、ご覧ください。

主 催: 石川町・石川町教育委員会
会 場: 石川町立歴史民俗資料館 3F展示室
開催期間: 平成28年8月2日(火)~11月6日(日)
開催時間: 午前9時~午後4時(入館は午後3時30分まで)
休 館 日: 月曜休館・月曜日が祝日の場合翌日休館
観 覧 料: 無料
展示内容: 経歴紹介、著書紹介、学術論文紹介
数々の受賞紹介、収集資料紹介など



HAPPY SmILE

ハッピー

スマイル



吉田 彩代ちゃん(2歳)

「2歳おめでとう！
ご飯いっぱい食べて、
元気に育ってね。」

パパ・ママより 下泉



- 「ハッピースマイル」では参加してくれるお子さん（3歳以下）を募集しています。気軽に問い合わせください。
- ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。

石川町役場総務課 26-2111 koho_k@town.ishikawa.fukushima.jp



職業▶ペンキ屋です。建物を塗ります。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか。

A 釣りとクロカンです。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください。

A 幸せな家庭を築きたいです。

Q 将来どんな町になって欲しいですか

A 活気あふれる町。にぎやかな街になってほしいですね。

Q 最後に理想のタイプは。

A 嫁と娘以外興味なし。

Q & A

青春

ど 真ん中

佐藤 巧也さん
(24歳)



▶次回は、佐藤さんの紹介で薄井 奈美さんです。



編集後記

8月に入り、連日厳しい暑さが続いているですね。学生さんは夏休みといふこともあり、外へ出かけたり部活動などに励んでいることだと思います。私もふと学生時代を思い出すと、夏休みはほとんどが部活動をしていましたが、そのため毎年夏の時期は肌が真っ黒に日焼けしていました。熱中症にならないよう十分に気をつけて有意義な夏休みにしましょう。

(山田)

みんなで
防犯

子ども防犯呼びかけ隊

今月の隊長 広報無線の声

石川 小学校 6年 鈴木 和香奈さん



Q毎日の通学などで気をつけていることは？

Aバス停には友達と一緒に歩くようにして、一人で下校しないようにしています。また、会った人にあいさつをするようにしています。

Q将来の夢を聞かせてください。

Aインテリアコーディネーターになって、いろんな人に人気のある家具を作れるようになりたいです。

町の人口

●7月1日現在住民基本台帳 () 内前月比

16,034人	(△23)
男 7,850人	(△ 8)
女 8,184人	(△15)
世帯数 5,720戸	(△ 6)

町民憲章

- 自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
- 親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
- 歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう